

令和4年度進行管理・評価シート
佐渡市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月24日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観法、屋外広告物法、佐渡鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 相川郷土博物館整備事業	4
2 旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業	5
3 史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業	6
4 重要文化的景観整備事業	7
5 空き家等対策事業	8
6 地域防災力向上支援事業	9
7 道路美装化事業	10
8 階段整備事業	11
9 街路灯整備事業	12
10 地域行事等支援事業	13
11 文化施設等への映像体験設備導入事業	14
12 北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業	15
13 まちあるきによる文化財等散策事業	16
14 文化財看板等整備事業	17
15 観光パンフレット多言語化事業	18
16 観光ガイド育成・活用事業	19
17 弥十郎駐車場再整備事業	20
18 渋滞緩和対策事業	21
19 歴史文化啓発グッズ開発事業	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	23
2 文化財の修理、防災・防犯について	24
3 文化財に関する普及・啓発について	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 (報道等タイトル名)	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 地域住民や民間業者の認知度向上	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

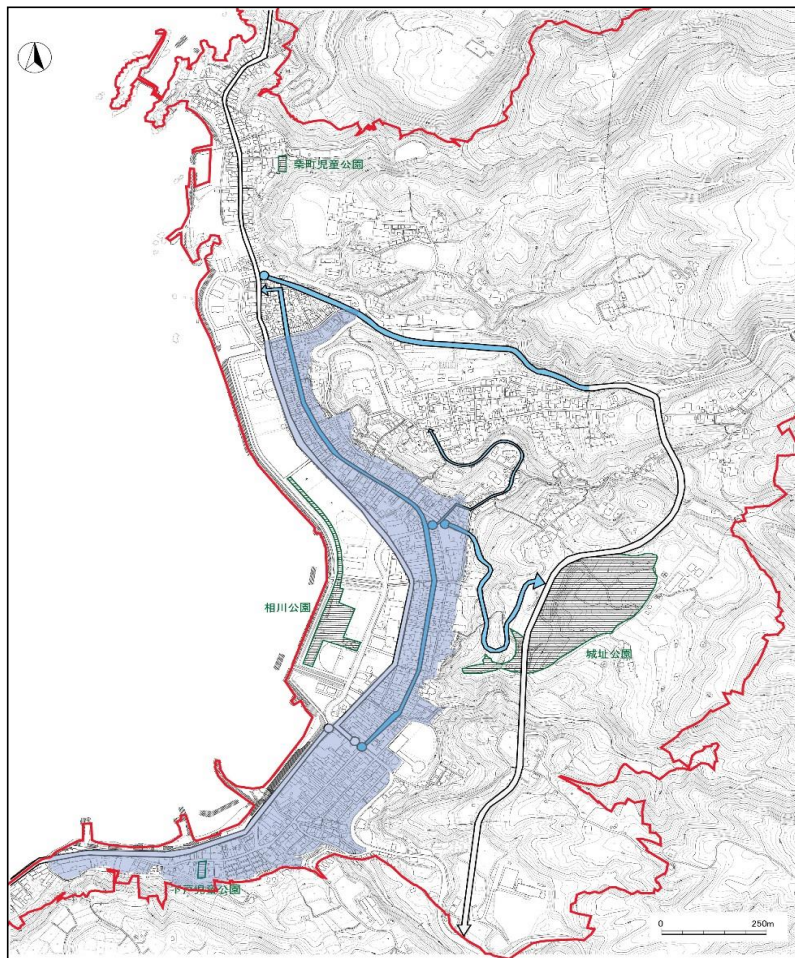
評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	佐渡市世界遺産推進課、建設課を中心とした庁内推進体制を構築するとともに、法第11条の規定に基づく「佐渡市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の進捗管理や変更等の連絡、調整、協議を行い、事業の推進を図る。 また、必要に応じて文化財や都市計画、景観に関する審議会や専門家会議等に事業の実施状況を報告し、助言を求める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
佐渡市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、庁内連携を図りつつ取り組んでいる。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染防止対策を行いながら実施した。 審議事項がない場合(事業報告のみ)の協議会開催方法を検討した。	
状況を示す写真や資料等		
●計画の推進体制		
佐渡市歴史的風致維持向上計画 推進体制 庁内推進体制 ・市長部局（関係各課） ・教育委員会 【事務局】 ・世界遺産推進課 ・建築住宅課 連絡・調整 佐渡市歴史的風致維持向上協議会 ・学識経験者 ・関係団体 ・地域代表 ・行政機関（新潟県、佐渡市） ・市職員 報告・助言 佐渡市文化財保護審議会 佐渡市都市計画審議会 佐渡市景観審議会 佐渡市関連専門家会議 相談・支援 国 文部科学省、農林水産省、国土交通省 新潟県		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
都市計画法との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域の範囲である相川地区では、重点区域の全域が非線引き都市計画区域に包含される。なお、用途地域は指定されておらず、下町では建蔽率70%、容積率300%に定められているほか、上町及び下町の住宅が密集している地域は建築基準法第22条区域や、一部では準防火地域に設定されている。本市では、地域の実状に応じた適切な土地利用誘導を図っているところであり、今後も引き続きこれらの都市計画に基づきながら、良好な市街地環境の形成を図っていくこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
良好な市街地環境の形成のため、都市計画の各種規定に基づき、土地利用規制等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

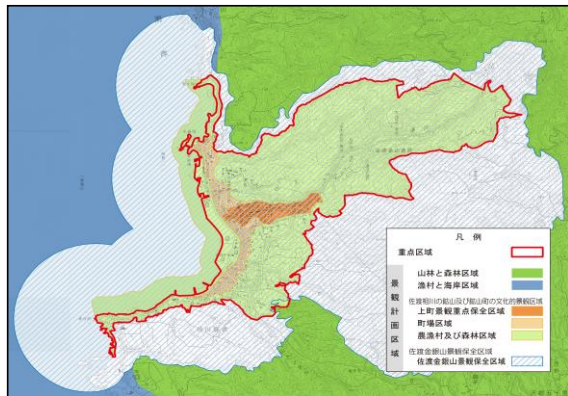


都市計画法に基づく規制等の状況

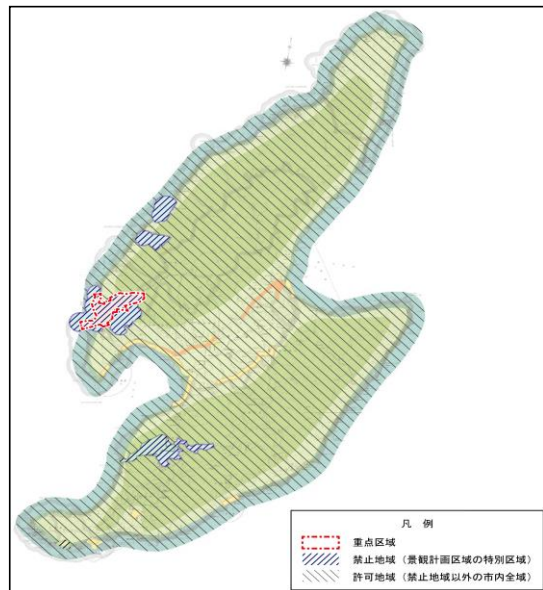
評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

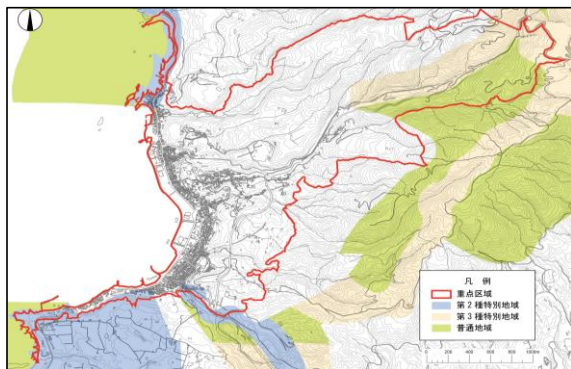
		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
景観法、屋外広告物法、佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観、自然公園法との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	佐渡市では上記施策に関連する取組みが進められている。今後も引き続きこれらの施策を継続し、連携を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財保護法との連携: 重点区域と重要文化的景観選定範囲が重複するため、各担当者間での情報共有を行った。また、景観法・屋外広告物・自然公園法担当者とも事前協議や情報共有等を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



景観計画区域図



屋外広告物の規制地区



自然公園法による規制等の状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
相川郷土博物館整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	史跡「佐渡金銀山遺跡」の一部である御料局佐渡支庁跡は、現在、相川郷土博物館として活用されているが、経年劣化による破損等が懸念される。今後も引き続き来訪者が訪れる施設であるため、耐震補強を含む改修や展示内容の更新を伴う施設整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年7月頃より耐震改修工事に着手した。工事を進めるにあたっては、内部解体により新たに発見された痕跡等の調査分析を進め、12月26日、3月27日に開催された史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議での意見を取り入れながら改修方針を決定し実施した。展示更新工事に向け、展示パネルの文章執筆、展示資料の選定を行った。鉱山史や近代史に詳しい専門家等に文章執筆を依頼するとともに、当該専門家等からなる令和4年度相川郷土博物館展示検討会を設置し、12月22日、2月28日の会議を経て、展示内容の詳細をつめた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和5年度からの展示更新工事に向けて準備を進める中で、展示資料の収集が課題となっている。引き続き、当時佐渡鉱山に勤めていた方や関係者等から情報収集を進める。	
状況を示す写真や資料等			
			
相川郷土博物館 (工事前)		旧御料局佐渡支庁 (工事前)	
			
旧鉱山本部事務所東棟 解体状況		渡り廊下天井 解体状	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧佐渡鉱山採鉱施設保存活用整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財(建造物)「旧佐渡鉱山採鉱施設」である大立堅坑櫓、大立堅坑捲揚機室、高任粗砕場は、経年劣化による建造物や構造物等の毀損が進行しているため、これらの修理をはじめとする保存や公開活用に向けた整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
岩盤崩落の危険性が確認された大立地区の大立堅坑櫓背面の法面に対する安全対策に向けて、現地の詳細調査及び対策工の設計を実施した(令和5～7年度に工事実施予定)。 重要文化財の修理のため、取り外された解体材の保管庫の設置工事を実施した。 令和4年10月に開催した佐渡市建造物保存活用に関する専門家会議において、専門家との協議を実施し、大立地区の法面对策工に関する意見を伺った(専門家意見については、令和5年度における対策工への反映を検討する)。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		重要文化財に指定されている建造物の劣化や毀損が進行しており、保存修理に要する期間の長期化や修理費用の増加も想定されるため、他自治体における修理事例や専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新や予算削減に向けた取り組みを進める必要がある。	

状況を示す写真や資料等



解体材保管小屋の設置



大立地区法面の詳細調査の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	相川地区の史跡「佐渡金銀山遺跡」において、専門家の指導・助言を受けながら、経年劣化の進行する遺構の保存に向けた測量調査等を実施するほか、来訪者用の解説・誘導サインを設置し、受け入れ態勢の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は重点区域での整備は実施していない。 広範囲の史跡であるため、整備は順番に実施する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	測量成果を基に、定期的な経過観察を継続し、専門家や文化庁・新潟県の指導を仰ぎながら、保存方法について検討を進める必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
重要文化的景観整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用整備事業費補助金		
計画に記載している内容	地域内には、重要文化的景観の重要な構成要素となっている歴史的な建造物等が多数存在しているが、それらの建造物等の修理や修景に関する費用の一部を補助金により支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化的景観の重要な構成要素となっている建造物3件の修理事業に対して補助金を交付した。また、文化財の価値を適切に保存するため、同事業における工事の設計監理を実施した。 次年度に修理を予定する建造物(相川地区3件)の現況調査を実施し、劣化状況や修理方針の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	重要文化的景観の価値を保存しつつ適切に建造物を修理するため、所有者及び施工業者と綿密な連携を図る必要があるが、これらの協議にあたり協議時間が長期化してしまう場合があるため、円滑な事業の進捗に向けてスケジュール調整等に留意する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 善知鳥神社 修理前  善知鳥神社 修理後  個人住宅 修理前  個人住宅 修理後			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
空き家等対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和11年度	
支援事業名	空き家対策総合支援事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	空き家等の有効活用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家等の再生に必要な改修経費等の一部について補助金を交付する。 また、歴史的建造物ではなく、景観を阻害している物件については、所有者等と連携を図り、除却する対策を講ずる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重点区域である相川地区の歴史的建造物の修理事業に対し補助金を交付した(当初計画5件→交付決定3件)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	1年間での修理事業となるため、修理内容の検討や景観保全に向けて、所有者や施工業者に対し適切な施工方法への誘導や管理を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
  個人住宅 修理前 個人住宅 修理後		

評価軸③-1

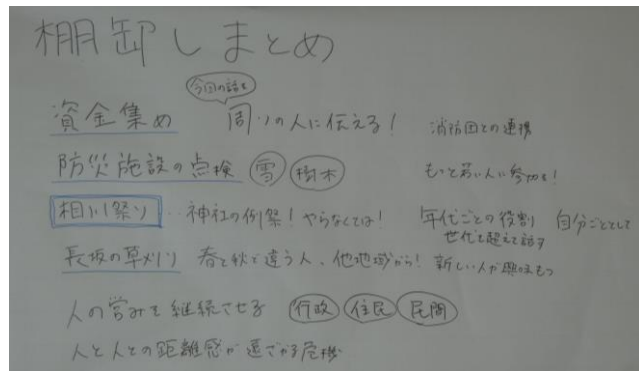
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度	
現在の状況	
地域防災力向上支援事業	
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和元年度～令和11年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	文化的景観を構成する建造物が密集する上町等において、火災等に対する安全対策のため、耐震性貯水槽及び消火栓を整備するなど、防火機能の強化を図る。 また、自主防災組織の育成・強化のため、講演会や防災訓練を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
地域住民によるワークショップを3回(12月20日・2月18日・2月25日)、小木地区住民との意見交換会を1回(3月4日)開催し、自主防災組織の育成・強化に向けた取組みを行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	地域住民の防災に対する意識向上を図るため、防災設備の取扱い方、避難・誘導の方法について、講習や訓練を継続して取組みを進める必要がある。

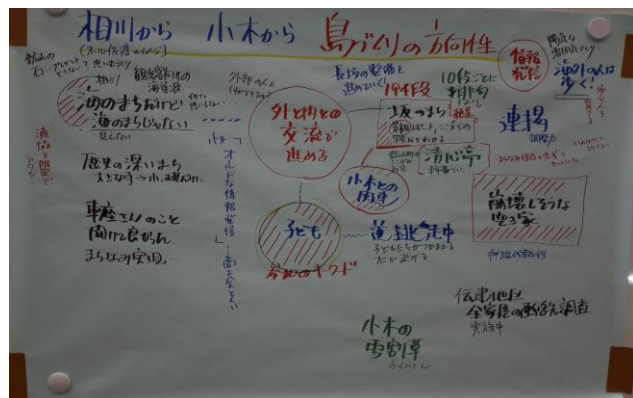
状況を示す写真や資料等



12/20 ワークショップ



3/4 ワークショップ

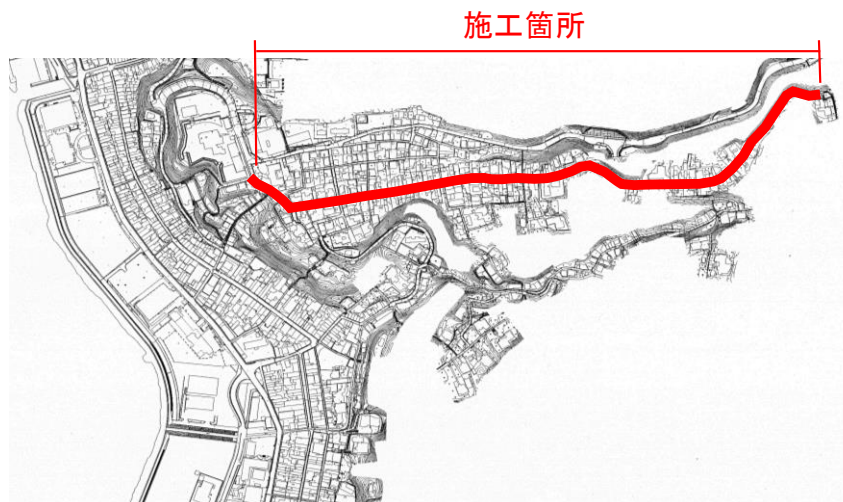


評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

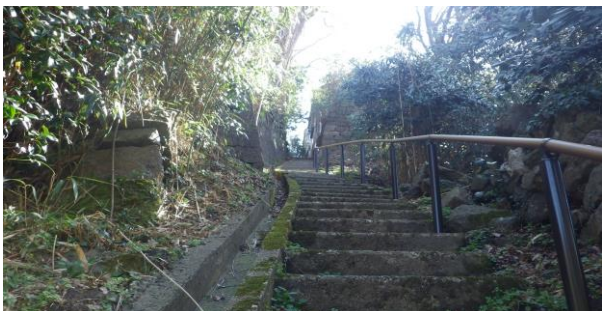
		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物等を散策する際の来訪者の利便性向上のため、重点区域内の市道の舗装及び側溝蓋等の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は通行規制について地元住民からの協力をいただき、相川141号線(舗装面積:3000m2程度)の舗装工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		来訪者の散策及び住民生活等に支障が出ないような工事計画が課題と考える。工事説明等を丁寧に行い、円滑な工事進捗に努める。	

状況を示す写真や資料等



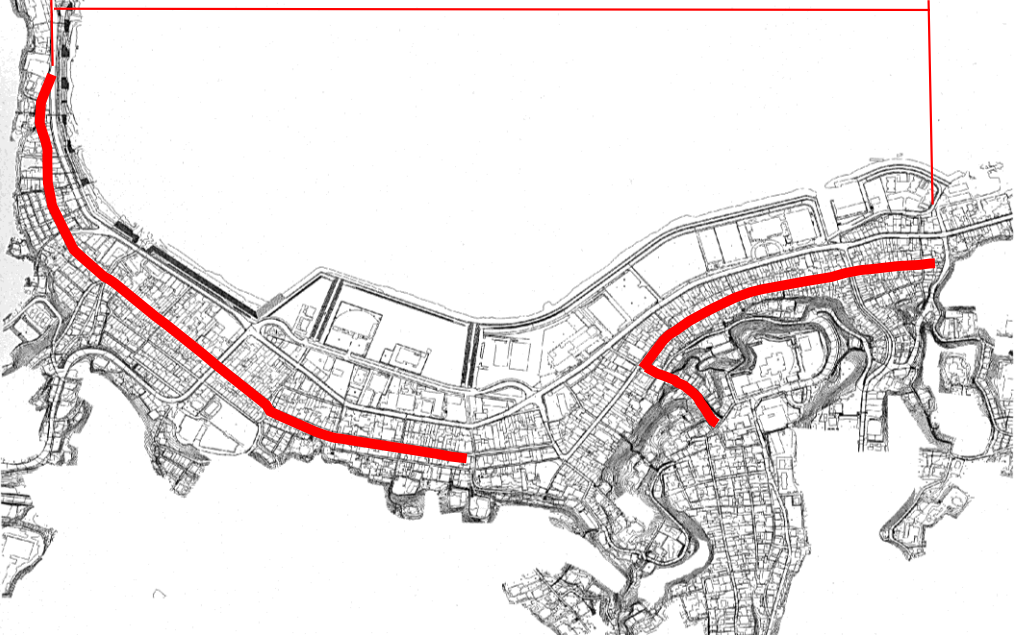
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
階段整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	坂の多い重点区域内において、市民や来訪者の歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つまち並みに調和した階段の整備及び手すりの設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は通行規制について地元住民からの協力をいただき、紋兵衛坂、柄実坂、蔵人坂の手すり整備並びに、紋兵衛坂については階段改修工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来訪者の散策及び住民生活等に支障が出ないような工事計画が課題と考える。工事説明等を丁寧に行い、円滑な工事進捗に努める。		
状況を示す写真や資料等			
紋兵衛坂  柄実坂  蔵人坂 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
街路灯整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史的な風情を色濃く残すまちなみのイメージアップを図るため、街路灯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は令和3年度に引き続き、下町ルートを主に実施した。予定していたルートの街路灯整備は完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	来訪者の散策及び住民生活等に支障が出ないような工事計画が課題と考える。工事説明等を丁寧に行い、円滑な工事進捗に努める。		
状況を示す写真や資料等			
施工箇所 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目	現在の状況	
地域行事等支援事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市民団体等が主体となって行う行事、イベントである「春日神社新能」、「宵乃舞」、「桜並木ライトアップ」等には、さらに多くの集客を図るため、その費用の一部を支援する。なお、必要に応じて学識経験者など、専門家からの指導・助言を得ながら、文化財としての価値についても考慮し、事業を進めていく。また、史跡「佐渡金山」周辺の桜並木をライトアップすることで誘客を図り、世界遺産登録を目指す佐渡金銀山遺跡の普及とその他活用促進を目指す。地域集落や祭り実行委員会など、市民が主体となって組織される地域活動団体による地域づくりの取組みに対し支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重点区域で実施される地域活動団体による地域づくりの取組みに対し、助成を行った(3件) 「春日神社新能」では昨年の2倍にあたる159名の来場があったほか、「宵乃舞」については約4,000名もの方々に来場いただいた。また「桜並木ライトアップ」では春の観光シーズン到来に合わせ、史跡「佐渡金山」周辺の桜並木をライトアップし約2,000名に来場いただいた。支所・行政サービスセンターが主体となり、集落、祭り実行委員会等と意見交換を行い、地域行事等の支援を実施している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナで、3年間実施されていない祭りなど地区へのフォローアップが必要である。	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化施設への映像体験設備導入事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和9年度		
支援事業名	佐渡市単独事業		
計画に記載している内容	史跡「佐渡金銀山遺跡」の一部である佐渡奉行所や、佐渡の伝統工芸の無名異焼などを体験できる相川技能伝承展示館の機能を強化するため、映像体験設備等を導入する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(一財)佐渡文化財団に委託及び地元陶芸家の協力のもと、相川技能伝承展示館で実施している無名異焼及び裂織体験を解説・紹介する映像の映像を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・令和4年度に作成した相川技能伝承展示館の体験メニュー映像の導入に向けて関係者と打合せの上、進めていく。 ・佐渡奉行所の映像体験設備導入については、展示計画に合わせた映像に必要な素材の収集や調査が必要となるため、令和5年度から開始する佐渡奉行所整備事業に合わせて進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
相川技能伝承展示館 外観			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
北沢浮遊選鉱場ライトアップ事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和11年度		
支援事業名	離島活性化交付金		
計画に記載している内容	世界遺産を目指す相川地区において、当時の歴史・文化を色濃く残す北沢浮遊選鉱場において、夜間ライトアップを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年4月22日から令和5年2月28日まで点灯を実施し、延べ23,135人が鑑賞した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		夜の魅力ある観光地づくりとして、関連イベントを実施する等、さらなる賑わい創出を検討する。	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度		評価対象年度
項目		現在の状況
まちあるきによる文化財等散策事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	健康づくりを兼ねたまちあるき散策コースの設定	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
高齢者が健康づくりをかねて散策できるコースの設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際にコースを歩いてもらうところまでは実施できなかった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	どのコースも階段や坂道が多いコースであるため、体力や体調に合わせてショートカットするなど、ルートの検討が必要と思われる。 消費カロリーの計算ができると良い。	
状況を示す写真や資料等		

①北沢選鉱場散策コース



②佐渡版画村美術館・京町通り散策コース



③市街地散策コース



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財看板等整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	誘導サイン(注意喚起含む)の設置		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度における相川地区の整備実績なし 【環境対策課】 ・不法投棄/パトロール等を実施し、ポイ捨て及び不法投棄物の回収を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	交通規制の方法や地域住民の駐車場確保等について、地域住民や関係団体と検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

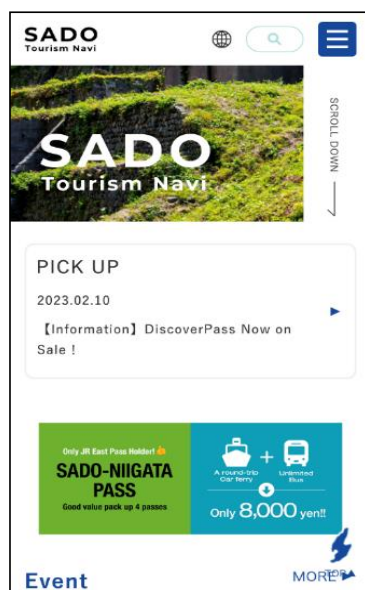
項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
観光パンフレット多言語化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	外国人観光客を含めた来訪者に効率的・効果的に情報発信するため、多言語に対応したパンフレット等を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
さど観光ナビQRカード作成 35,000枚 観光客の情報源が紙パンフレットからwebサイトや検索に移行しており、佐渡観光公式サイト「さど観光ナビ(英語版)」及びデジタルパンフレットに誘導するためのQRカードを作成し配布した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		パンフレットやwebサイトを構築する際にはターゲットや、情報取得のタイミングなどの戦略が必要だが、コロナ禍で需要や旅行スタイルが変わって以降の戦略策定が進んでいない。	

状況を示す写真や資料等

【QRカード】



【さど観光ナビ(英語)】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
観光ガイド育成・活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）		
計画に記載している内容	歴史的建造物や歴史・文化について語ることができる市民ガイドの育成を強化する。併せて、今後増加が予想される外国人来訪者に向けた外国語ガイドの育成を行うとともに、活用の仕組みを構築する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
2/25 佐渡金銀山ガイド研修を実施 （参加者：30名） 実際に現地ガイドとして活動しているふれあいガイド、金銀山ガイド、ジオパークガイド、トキガイドを対象として、全国通訳案内士からインバウンド向けのインタープリテーションの研修を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		既存のガイドを多言語対応させるにはハードルが高く、啓発につながる研修会の実施と併せて、ハイレベルなガイドを養成する取り組みも必要。	

状況を示す写真や資料等



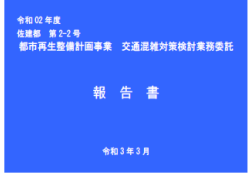
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
弥十郎駐車場再整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金		
計画に記載している内容	・弥十郎駐車場の隣地に新たな駐車スペースを確保する。 ・駐車場の増設をするとともに公園を併設し、来訪者が利用しやすいスペースとして再整備を実施する		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
耐震や改修に関し令和2年12月と令和3年3月に整備方針について文化庁協議を2回実施した。また、令和2年9月、12月及び令和3年3月に開催された史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議での意見をふまえ、耐震基本設計を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和4年6月に基本・実施設計契約を締結し作業を進めているが、内容の精査・見直しに時間を要したため、令和5年度繰越事業となった。今後は文化的専門家等の意見を踏まえ工事実施に向け事業を進める必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度																																																														
項目		現在の状況																																																														
渋滞緩和対策事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手																																																														
事業期間	令和元年度～令和6年度																																																															
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)																																																															
計画に記載している内容	重点区域内においては「まちあるき」を推奨しているが、駐車スペースの確保や道幅の狭い道路等の改修が課題となっている。渋滞の原因となるこれらの課題を解消するための調査及び検討を行うとともに、来訪者の利便性向上を図るために検討結果に基づく新たな駐車場の整備や道路改修を行う。																																																															
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																																
令和2年度の委託成果を関係各課と情報共有し、検討を進めている。																																																																
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																															
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	速やかに施策立案を行い、関係機関の連携及び協調に取り組む。																																																															
状況を示す写真や資料等																																																																
 佐 渡 市 エヌシーイー株式会社 目 次 <table border="0"> <tr><td>1. 業務の概要</td><td>1-1</td></tr> <tr><td>1.1 業務概要</td><td>1-2</td></tr> <tr><td>1.1.1 業務の目的</td><td>1-2</td></tr> <tr><td>1.1.2 業務概要</td><td>1-2</td></tr> <tr><td>1.1.3 業務項目</td><td>1-2</td></tr> <tr><td>1.2 実施内容</td><td>1-6</td></tr> <tr><td>1.2.1 実施プロセス</td><td>1-6</td></tr> <tr><td>1.2.2 実施方針</td><td>1-7</td></tr> <tr><td>2. 交通量予測</td><td>2-1</td></tr> <tr><td>2.1 実施概要</td><td>2-2</td></tr> <tr><td>2.2 現状配分</td><td>2-3</td></tr> <tr><td>2.2.1 現状配分対象道路網の設定</td><td>2-3</td></tr> <tr><td>2.2.2 現状 (0) の作成</td><td>2-4</td></tr> <tr><td>2.2.3 現状配分結果</td><td>2-5</td></tr> <tr><td>2.3 将来交通量配分</td><td>2-7</td></tr> <tr><td>2.3.1 将来配分実施ケースの設定</td><td>2-7</td></tr> <tr><td>2.3.2 将来配分対象道路網の設定</td><td>2-7</td></tr> <tr><td>2.3.3 将来 (0) の作成</td><td>2-10</td></tr> <tr><td>2.3.4 将来配分結果</td><td>2-12</td></tr> <tr><td>2.4 配分方法</td><td>2-16</td></tr> <tr><td>3. 将来交通量からみた課題の抽出</td><td>3-1</td></tr> <tr><td>3.1 実施概要</td><td>3-2</td></tr> <tr><td>3.2 アクセシビリティの課題</td><td>3-3</td></tr> <tr><td>3.2.1 交通量増加路線</td><td>3-3</td></tr> <tr><td>3.2.2 路線区間の抽出</td><td>3-6</td></tr> <tr><td>3.2.3 実施交通量からの推計</td><td>3-7</td></tr> <tr><td>3.3 佐渡金山周辺道路の課題</td><td>3-8</td></tr> <tr><td>3.3.1 2方向2車線区間の道路状況の推定</td><td>3-8</td></tr> <tr><td>3.3.2 2方向1車線区間の道路状況の推定</td><td>3-10</td></tr> <tr><td>3.4 佐渡金山周辺駐車場の課題</td><td>3-12</td></tr> <tr><td>3.5 課題のまとめ</td><td>3-14</td></tr> </table> 4. 課題に対する対策の検討 4.1 課題への対応方針 4.2 対応方針の内容検討 4.2.1 ピーク時の交通量の分散 4.2.2 自動車での交通を抑制 4.2.3 丁字交差点の交通処理 4.3 今後の課題 ・添付資料1 概要図 ・添付資料2 佐渡金山が世界遺産登録後の観光入込客数(推定)の推計 打合せ簿 原簿記録			1. 業務の概要	1-1	1.1 業務概要	1-2	1.1.1 業務の目的	1-2	1.1.2 業務概要	1-2	1.1.3 業務項目	1-2	1.2 実施内容	1-6	1.2.1 実施プロセス	1-6	1.2.2 実施方針	1-7	2. 交通量予測	2-1	2.1 実施概要	2-2	2.2 現状配分	2-3	2.2.1 現状配分対象道路網の設定	2-3	2.2.2 現状 (0) の作成	2-4	2.2.3 現状配分結果	2-5	2.3 将来交通量配分	2-7	2.3.1 将来配分実施ケースの設定	2-7	2.3.2 将来配分対象道路網の設定	2-7	2.3.3 将来 (0) の作成	2-10	2.3.4 将来配分結果	2-12	2.4 配分方法	2-16	3. 将来交通量からみた課題の抽出	3-1	3.1 実施概要	3-2	3.2 アクセシビリティの課題	3-3	3.2.1 交通量増加路線	3-3	3.2.2 路線区間の抽出	3-6	3.2.3 実施交通量からの推計	3-7	3.3 佐渡金山周辺道路の課題	3-8	3.3.1 2方向2車線区間の道路状況の推定	3-8	3.3.2 2方向1車線区間の道路状況の推定	3-10	3.4 佐渡金山周辺駐車場の課題	3-12	3.5 課題のまとめ	3-14
1. 業務の概要	1-1																																																															
1.1 業務概要	1-2																																																															
1.1.1 業務の目的	1-2																																																															
1.1.2 業務概要	1-2																																																															
1.1.3 業務項目	1-2																																																															
1.2 実施内容	1-6																																																															
1.2.1 実施プロセス	1-6																																																															
1.2.2 実施方針	1-7																																																															
2. 交通量予測	2-1																																																															
2.1 実施概要	2-2																																																															
2.2 現状配分	2-3																																																															
2.2.1 現状配分対象道路網の設定	2-3																																																															
2.2.2 現状 (0) の作成	2-4																																																															
2.2.3 現状配分結果	2-5																																																															
2.3 将来交通量配分	2-7																																																															
2.3.1 将来配分実施ケースの設定	2-7																																																															
2.3.2 将来配分対象道路網の設定	2-7																																																															
2.3.3 将来 (0) の作成	2-10																																																															
2.3.4 将来配分結果	2-12																																																															
2.4 配分方法	2-16																																																															
3. 将来交通量からみた課題の抽出	3-1																																																															
3.1 実施概要	3-2																																																															
3.2 アクセシビリティの課題	3-3																																																															
3.2.1 交通量増加路線	3-3																																																															
3.2.2 路線区間の抽出	3-6																																																															
3.2.3 実施交通量からの推計	3-7																																																															
3.3 佐渡金山周辺道路の課題	3-8																																																															
3.3.1 2方向2車線区間の道路状況の推定	3-8																																																															
3.3.2 2方向1車線区間の道路状況の推定	3-10																																																															
3.4 佐渡金山周辺駐車場の課題	3-12																																																															
3.5 課題のまとめ	3-14																																																															

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度	
項目	現在の状況
地域住民や民間業者の認知度向上	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	R3～R4
支援事業名	R3～R4 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	佐渡産品の販売及び佐渡金銀山の世界遺産登録の応援となるように、島内外での開発商品販売イベントの開催や観光ツアーでの活用など通じて、周知PRをおこない、継続的な事業となるように事業を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
「佐渡島の金山」世界遺産登録応援キャンペーンと題し、佐渡金銀山商品開発プロジェクトに参画している商品の販売促進を島内観光施設等で実施した。観光施設等協力者14者、キャンペーン参画商品数21アイテム 佐渡金銀山商品開発プロジェクトに新たに4社が参画した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☑計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
市内にある指定等文化財については、関連法令に基づいて保存・管理を実施するとともに、その所有者や管理者に対して、保存・管理計画に記載に向けた助言等を行っている。 未指定の文化財を含めた具体的な保存活用の計画については、文化財保護法に基づき、新潟県における「文化財保存活用大綱」の策定状況を鑑み、その内容を踏まえた「文化財保存活用地域計画」の策定を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 国史跡「佐渡金銀山遺跡」に「新穂銀山跡」が追加指定された。新穂銀山跡は、小佐渡山地の標高約100～400mの山中に立地し、約3,420,000㎡という広大な面積を有する遺跡で、16世紀後半には採掘が始まっていたと推測され、17世紀前半に最盛期をむかえたことが記録に残っている。新穂銀山跡は、中世の採掘形態である露頭掘り跡が広範囲に数多く分布していることが特徴であり、戦国時代末期に坑道掘りが導入される以前の、佐渡の採掘形態を知るうえで、極めて重要な遺跡で露頭掘り跡を主体として、遺構が良好に残っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も地元住民との連携を深めながら、地域の宝である新穂銀山跡も含めて「佐渡金銀山」の更なる保存・活用を進めていく。
状況を示す写真や資料等		
		
新穂銀山跡 遠景		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の修理、周辺環境の整備、防災・防犯について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定文化財の修理にあたっては、文化財保護法や新潟県及び佐渡市の文化財保護条例に基づき適切に行うとともに、必要に応じて文化庁や新潟県、佐渡市文化財保護審議会などから指導・助言を受けるなど、関係機関や専門家と連携して実施する。なお、所有者等の財政的な負担軽減を図るため、各種補助制度を積極的に活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
国史跡「佐渡金銀山遺跡」に関連する文化財の修理や整備を実施する際には、これらの文化財を適切に保存し、活用を図るため、文化庁・新潟県、佐渡市が主催する専門家会議の専門家より指導・助言を受けながら事業を実施した。文化財の修理に関しては、国史跡金子勘三郎家住宅主屋(真野地区西三川)の修理工事を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	修理や整備に関しては、他自治体における修理事例や専門家による指導を受けながら、適切な修理内容・事業スケジュールの更新や予算削減に向けた取り組みを進める必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 金子勘三郎家内装工事の様子  現地見学会の様子 * お披露目		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域内にある佐渡金銀山ガイド施設において、佐渡金銀山の魅力や価値を伝えるための展示解説や企画展、イベント等の開催により、文化財の情報を広く発信し、普及・啓発をするための取り組みを行っている。将来の文化財保存に向けた次世代育成として、児童や生徒を対象とした郷土学習や課外授業を行っている。さらに、歴史資源や文化を活かしたまちづくりに関する講演会・シンポジウム等の開催を通して、地域におけるまちづくりへの取り組みを促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
金銀山ガイド施設では普及啓発を目的とし、年数回のイベントや企画展を実施している。 また、地域の特色ある埋蔵文化財活用事業にて、市内の小中学生を対象に出前授業などを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	イベントや講演会への参加者が固定化しつつあるため、様々な年齢や職種等が興味を持ち、参加しやすい行事を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
			
きらりうむ佐渡イベント (令和4年7月)		佐渡金銀山現地見学会(親子イベント) (令和4年10月)	
			
佐渡金銀山現地見学会(新穂銀山地区) (令和4年11月)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度		年度
	年月日	掲載紙等	
”江戸時代の佐渡”をCGで再現	令和5年3月3日	BSN、佐渡テレビジョン、新潟日報ほか	
「佐渡島の金山」のスペシャリストに聞く、佐渡島が世界に誇る遺跡とは	令和5年1月24日	Walkerplus.com	
世界遺産登録を目指す！注目を集める「佐渡島」の魅力を満喫してみた	令和5年2月6日	Walkerplus.com	
まるで”日本文化”のるつぼ！たひがもっとおもしろくなる「佐渡島」のヒストリーとは	令和5年2月16日	Walkerplus.com	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

世界遺産への推薦に関連する事項が多く報道された。これらの報道等を通し、また、世界遺産登録と併せて広報を行うことで、歴史的風致の維持向上に関する地域住民の認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

SNS等を用いて、新聞やテレビをあまり見ない方への普及啓発も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



CG映像コンテンツ完成試写会
(令和4年3月)



walkerplus 記事QR

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和4年度
地域住民や民間業者の認知度向上			
計画に記載している内容	鉾山町相川の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めるために策定した「佐渡市歴史的風致維持向上計画」を広 く市民に周知するため、民間業者と協働し商品開発を行った。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
歴史的風致や世界文化遺産をテーマとし、新商品のアイデアを広く募集した。制作にあたりワークショップを開催し、企画段 階から島内事業者と協働で事業を実施した。 商品開発においては、佐渡金銀山製品開発等支援事業補助金を制定し、採択された事業者が、売上の一部を佐渡市世界 遺産推進基金に寄附を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も継続的に情報提供等を行い、地域住民や民間業者と協働したまちづくりを行う。		
状況を示す写真や資料等			
 寄附金贈呈式の様子  寄附金贈呈式の様子			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 佐渡市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 書面会議	
(コメントの概要)なし	
(今後の対応方針)	